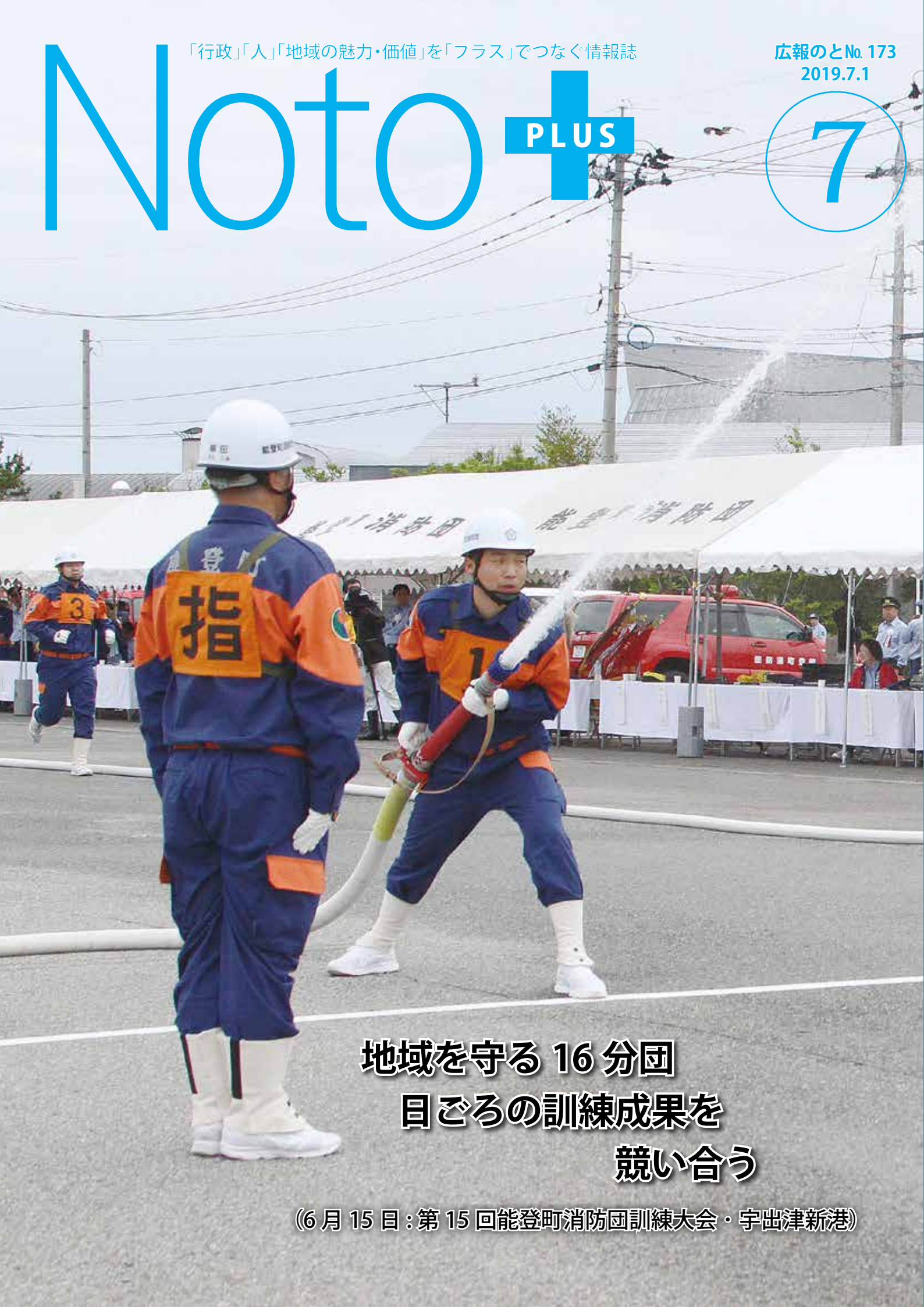




地域を守る 16 分団 目ごろの訓練成果を 競い合う

(6月15日：第15回能登町消防団訓練大会・宇出津新港)

その四

のとしょう

歴史と文化のトビラ

■あばれ祭りの神様

7月5・6日、県指定無形民俗文化財「宇出津のキリコ祭り」が執行されます。別名「あばれ祭り」でおなじみの祭りは、松明が燃え盛り、幾数ものキリコが乱舞するともに、神輿が海中・火中に入るといった迫力に満ちた内容です。

なぜ、このような荒々しく、ましてや神様が乗っているとされる神輿を手荒に扱うのか。それは、お祭りされている神様（八坂神社の祭神）「素戔鳴命」に關係があるとされます。この神様には出雲国（島根県）に住む怪物「ヤマタノオロチ」を退



治した話などが伝えられ、勇ましく荒々しい神様であるため、破天荒な神事を好むのだといわれています。ほかにも、海中に入るのは、八坂神社の神様は海からやってきたので、その心を和ませるためという説や、神輿を清めるための禊にあたることも考えられています。また、火は悪霊が恐れ退散させる力があるためといわれます。



町教育委員会事務局 ☎ (72) 2509



宇出津のキリコ祭り

祭礼のはじまりは、江戸時代にさかのぼる。伝承によると、当時宇出津では疫病「泥棒風邪」が流行っていたため、十村役（現在でいう市町長のような役職）だった源五が、疫病にご利益があるとされる京都八坂神社の神様を勧請（神様の分霊を招いて祭ること）した。そして盛大な祭礼を執行したところ、大きなハチが現れ、次々と病人を刺した。すると病人の病は立ちどころに癒え、ハチは神様が姿を変えて現れたと考えた人々は、大変感謝した。それ以来、大きなキリコをつくって「大泥棒、ハチや刺いた」とはやしながら練り回ったという。写真は、昭和30年代に宇出津を拠点に布教活動を展開したデイビッド・ベックマン氏による。

今年も暑い夏がやってくる！

カップルに人気の「恋路海水浴場」。海の色が五色に変化する美しい「五色ヶ浜海水浴場」。夏の楽しい思い出作りは能登町の海水浴場でどうぞ。

開設期間

・恋路海水浴場、五色ヶ浜海水浴場
7月16日～8月20日 10時～16時

無料設備

トイレ、シャワー、更衣室、駐車場

☎ふるさと振興課 ☎ 62-8532



「広報のと」7月号の印刷費は一部当たり35円です。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。
E3PA：環境保護印刷推進協議会